

一般社団法人 日本臨床医学リスクマネジメント学会
令和 8 年度 定時評議員会 議事録

日時：令和 8 年（2026 年）6 月 30 日（火）18：20～19：00

開催場所：当法人主たる事務所

開催方法：Web 会議システムによる開催（Zoom）

評議員総数及び議決権総数：36 名 36 個

出席評議員数及び出席評議員の議決権数：29 名・29 個（うち Web 出席 24 名、委任状出席 5 名）

出席理事：三宅康史(理事長)、木下浩作(副理事長)、櫻井淳、藤田眞幸、渡邊両治、坂本哲也、

上拾石哲郎、松本博志、浅川悦久、橋本重厚、中島勸、水谷渉、長島久、石川栄二、

佐藤圭介、澤野誠、吉池昭一、清水敬樹、松月みどり、河原邦光

出席監事：吉田謙一、堤晴彦

オブザーバー：大伴加寿代

事務局：三原、中山（相澤病院）

議長：三宅康史（理事長）

議事録作成者：三宅康史（理事長）

（敬称略・順不同）

当法人定款の規定により、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「一般法人法」という。）上の社員を「評議員」、社員総会を「評議員会」、代表理事を「理事長」とそれぞれ表記するものとする。

議事の経過

三宅理事長が議長となり開会を宣言した。

評議員総数 36 名のうち、出席 29 名（Web 出席 24 名、委任状提出 5 名）で定足数に足る評議員の出席があったので、令和 8 年度定時評議員会は成立した。

なお、議事に先立ち、本評議員会は Web 会議システムを用いて開催することを宣言し、Web 会議システムによる出席者の音声が即時に他の出席者に伝達され、出席者が一堂に会するのと同等に適時適確な意思表示が相互にできる状態になっていることを確認した。

議事：

<審議事項>

1. 令和 8 年度（令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日）事業計画（案）

三宅理事長から、令和 8 年度の事業計画案として、機関誌『安全医学』発行、第 24 回学術集会、理事会・評議員会・総会の開催、医療安全セミナー等の説明があり（審議資料 1）、異議なく出席評議員の過半数を超える賛成により承認された。

2. 令和8年度（令和8年4月1日～令和9年3月31日）会計予算（案）

三宅理事長から、令和8年度会計予算の説明があり（審議資料2）、異議なく出席評議員の過半数を超える賛成により承認された。

3. 理事・評議員の新任及び改選について

三宅理事長から、本定時評議員会の終結をもって現理事の全員が任期退任するので、理事の選任を行う必要があることの説明があり、理事会での承認に基づき、現理事のうち26名の再任、横堀將司氏の理事・評議員新任、評議員の奥津康祐氏の理事新任、同じく評議員の森田沙斗武氏の理事新任、田中拓氏の評議員新任、および、朝見正宏氏の評議員新任について説明があり（審議資料3）、以下の理事29名の選任及び評議員2名の選任を議場に諮ったところ、異議なく出席評議員の過半数を超える賛成により承認された。

なお、被選任者のうち、本評議員会に出席している者は、席上において即時その就任を承諾した。

理事：木下浩作、藤田眞幸、上條由美、落合和徳、三宅康史、水谷 渉、上拾石哲郎、
松月みどり、坂本哲也、橋本重厚、中島 勸、浅川悦久、櫻井 淳、
吉田（古笛）恵子、佐藤圭介、河原邦光、渡邊両治、佐々木淳一、長島 久、
清水敬樹、澤野 誠、吉池昭一、石川栄二、松本博志、浦松雅史、鈴木健介、
横堀將司（新任）、奥津康祐（新任）、森田沙斗武（新任）
（以上、29名 敬称略・再任理事については登記簿掲載順）

評議員：田中 拓（新任）、朝見正宏（新任）

（以上、2名 敬称略）

4. 第25回(令和9年)学術集会長について

三宅理事長から、自身が第25回(令和9年)学術集会長を務めたい旨説明があり、異議なく出席評議員の過半数を超える賛成により承認された。さらに、次々年度に関し、森田評議員が内定となった旨説明があり、森田評議員から挨拶があった。

5. 年会費の値上げについて

三宅理事長から、学会の資産が減少し、医療安全セミナーにおける収入が不確実である中、事務局運営費用や学術集会の支援金の安定的確保、学術集会の充実などを目的とし、正会員を現行の5,000円から8,000円に変更したい旨説明があった(審議資料5)。さらに、理事会で会員状況や算出根拠に関する質問があったとして、変更後の収支見通しと共に、他の諸学会と比較して低額であったこと、様々な職種で分けることに関する事務手続きの点、職種によって分けるようにしない（職種によらず公平とする）点からも、8,000円程度が妥当とする旨説明があった。この値上げに関し決議をしたところ、異議なく出席評議員の過半数を超える賛成により承認された。

6. 主たる事務所及び事務局の移転に関する定款変更について

三宅理事長から、理事会承認により、令和8年7月1日付けで主たる事務所及び事務局が相澤病院から一般社団法人熱中症総合研究所の所在地（東京都渋谷区恵比寿一丁目6番6号）に移転とな

る旨の説明があり、移転に伴い定款 2 条を以下のとおり変更したい旨、本定款変更の効力発生日を令和 8 年 7 月 1 日としたい旨、会員等への周知方法等の説明があり（審議資料 6）、定款一部変更について承認を諮ったところ、異議なく評議員総数の半数以上であって、総評議員の議決権の 3 分の 2 以上の多数の賛成により承認された。

現行	変更案
（主たる事務所） 第 2 条 当法人は、主たる事務所を長野県松本市本庄二丁目 5 番 1 号 社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院内に置く。	（主たる事務所） 第 2 条 当法人は、主たる事務所を東京都渋谷区恵比寿一丁目 6 番 6 号 に置く。

<報告・承認事項>

1. 令和 7 年度（令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日）事業報告・庶務報告

三宅理事長から、機関誌『安全医学』発行、第 23 回学術集会、理事会・評議員会・総会の開催、医療安全セミナー等の説明があった（報告資料 1）。

2. 令和 7 年度（令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日）会計報告・承認

三宅理事長から、報告資料 2 に基づき会計報告があった。吉田監事から、送付された資料を精査したところ、適法適切に会計処理されており、問題ないと判断した旨の監査報告がなされた。

以上の説明、報告を踏まえ、三宅理事長は令和 7 年度の計算書類の承認を議場に諮ったところ、出席評議員の過半数を超える賛成により承認された。

3. 第 23 回（令和 7 年）学術集会収支決算報告

三宅理事長から、報告資料 3 に基づき報告があった。

4. 第 24 回（令和 8 年）学術集会進捗報告

三宅理事長から、会長の松本理事が今後ホームページを立ち上げ、演題募集する等の説明があった。

5. 各委員会報告

①編集委員会

藤田常務理事より、『安全医学』の刊行・準備や J-STAGE 公開の状況について説明があった（報告資料 5—①）。また、医中誌 Web に関し、現在、抄録号はタイトルだけの掲載となっているが、体裁を整えるなどの費用(10 数万円)を支出した上、抄録も掲載してもらうようにするか、意見の確認があったが、異議はなかったため、委員会で詳しく詰めることとなった。さらに、前回事務会以降、評議員も査読者としてすることとし、編集委員会に対し各評議員の専門分野を申し出ていただくようお願いしているが、まだ集まり切っていないため、未提出の人は提出するよう求めがあった。

②企画・シンポジウム委員会

中島常務理事から、令和7年のシンポジウムの報告とともに、今後も企画を検討しており、他の学会とは一線を描き、大きな事件の事例を積極的にとりあげて社会に訴えていければと考えている旨の報告があった。（報告資料5-②）。

③COI 委員会

三宅理事長から、報告資料5-③の通り説明があった。

④セミナー委員会

渡邊常務理事から、昨年度の実施状況の説明と共に、今年度は、開催日程は夏場の看護系学会をずらして設定したこと、貸会議室で行い費用を節約して開催することの他、Instagramにおける広報をすること、そのためのソーシャルメディアポリシーを、木下副理事長の提案を踏まえ、委員会で設定したことなどの説明があった（報告資料5-④）。さらに、「レバクリ」で当学会・セミナーが紹介された旨報告があった。

⑤コンプライアンス委員会

三宅理事長から、該当事案がないため、開催されなかった旨説明があった報告資料5-⑤。

以上

以上をもって Web 会議システムを利用した本理事会は通信が切断されることもなく、終始異状なく、本日の議事が終了したので、議長は閉会の挨拶を述べ散会した。

上記決議を明確にする為、議事録を作成し、当法人定款第 25 条第 2 項の規定に基づき議長及び議事録作成者たる理事長三宅康史は次に記名押印する。

令和 8 年 6 月 30 日

一般社団法人日本臨床医学リスクマネジメント学会 令和 8 年度定時評議員会

理事長： 三宅 康史



【捨印】

印